

閑上地区まちづくり協議会 世話役会(156) 議事録

日 時	平成 30 年 12 月 11 日 (火) 18:30~21:00
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (代表) 針生勉 (副代表) 阿部ひで、今野義正、(事務局長) 今野慎介 (世話役) 宇佐美久夫、千葉洋子、南部比呂志、出雲隆 (事務局) コンサルタント 4 名
オブザーバー	市職員 震災復興部 3 名 文化スポーツ課 2 名 仙台高専 坂口先生、学生 3 名 尚綱学院大学 2 名 東北大学 1 名
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. プレゼン大会のフィードバック 3. 今後の進め方 4. その他
資 料	資料-0 次第、第 154 回世話役会議事録案 資料-1 プレゼン大会参加御礼資料、第 3 回まちびらき実行委員会資料一式、 資料-2 今後の進め方、スケジュール 資料-3 ニュースレター第 38 号案 資料-4 横断幕デザイン案 資料-5 県道塩釜亘理線と閑上港線の交差点の切替、閑上西地区交流会お知らせ

○ 協議要旨

0. 事前確認について

<議事録確認>

- ・第 155 回世話役会議事録は確定することとした。

1. 情報共有

<名取市からの情報提供>

- ・スポーツエリアの整備計画 (基本計画からの変更点) についての説明があった。

<前回からの動き>

- ・復興公営住宅の完成式典について報告があった。

<今後の動き>

- ・クリスマス会の開催や閑上地区まちびらき実行委員会、総合計画市民懇談会などの開催があるという話があった。

2. 今後の進め方

- ・次年度以降のまちづくり協議会のあり方についての議論がなされた。

- ・今後整備される中央緑道などについては、思いは伝えていくが、一通り議論はされているので整備段階において市の担当者に調整を任せる。
- ・まちびらき後のまちづくり協議会のあり方については今後も継続して議論を行う。

3. その他

- ・閑上小中学校周辺の数度規制等、児童生徒の安全性確保について意見が出された。
- ・市有地の分譲についての方法についての意見が出された。
- ・新しく入居が始まる公営住宅（集合 E～H 塔）の支援体制についての意見交換した。
- ・1/12（土）に新年会を行う。

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は1月8日（火）とする。

次回予定:世話役会(157)1/8(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室

以下、世話役会の主な意見について記載する。

0. 事前確認

資料-0 第154回世話役会議事録案

<議事録の確認>

- ・第155回世話役会議事録は確定した。

1. 情報共有

「閑上運動グラウンド」（閑上グラウンドを含む：災害復旧）の整備計画について

- ◆ 基本計画（整備面積：約 6ha） 平成 29 年（2017 年）策定
レクリエーションスポーツ
 - パークゴルフ場 2 コース（天然芝 2.5～3.5ha）
 - 運動広場（クレイ 0.8ha：閑上グラウンド災害復旧分 0.5ha）
 - 健康アスレチック広場・自由広場等（各種アスレチック器具設置 1.5ha）
 - 管理棟、トイレ 2 箇所、駐車場（駐車場は都市公園利用者実態調査を基に算出）
 - エリア周回にジョギング（トリム）コース（1000m）※各施設の整備グレード（工事費）を 2～3 案を概算し、基本・実施設計に向け検討する。
（運動広場・健康広場の天然芝・人工芝等、管理棟・トイレ、周回フェンスや植栽等）

◆ 基本計画に関する審議等

- 平成 30 年（2018 年）2 月 21 日 名取市スポーツ推進審議会（答申）
 - 3 月 14 日 名取市教育委員会定例教育委員会（計画案承認）
 - 3 月 30 日 「閑上運動グラウンド整備基本計画」（策定）
 - 4 月 09 日 名取市庁議（説明）
 - 4 月 23 日 名取市教育委員会定例教育委員会（承認）

上記の整備を平成 30 年度で実施設計をし、平成 31 年度に着工、当該年度内完成を目指しておりましたが、財源確保の観点から、復興庁の「効果促進事業メニュー」を活用し、「閑上コミュニティ（多目的）広場」として整備するものである。

災害復旧で整備する「閑上グラウンド」は運動広場として基本計画どおり、別添内容にて整備する。

<名取市からの情報提供>

● 閑上運動グラウンド（閑上グラウンドを含む：災害復旧）整備計画について説明

- ・設計段階で今年の 5 月に話をしたが、閑上運動グラウンド、スポーツエリアの整備基本計画が少し変更となる。
- ・現案についてはレクリエーションスポーツとしてパークゴルフ場をメインとした閑上スポーツエリアを考えている。旧ゆりあげの公民館の前にあった 5000 m²のグラウンドも移設して稼動する。
- ・ご要望で 5000 m²では何も使えないとの事でしたので、予定では 8000 m²周りを入れると約 10000 m²になる予定。
- 完全変更について説明
 - ・整備を平成 30 年度で実施設計をし、平成 31 年度（2019 年度）に着工、当該年度内完成を目指しており、遅くても平成 32 年（2020 年春）には稼動する予定でしたが、急遽今年の 6 月から財源確保の観点から、復興庁の「効果促進事業メニュー」を活用し、「閑上コミュニティ広場整備事業」とし

て、別添整備内容のとおり「コミュニティ（多目的）広場」として整備することとなった。

- ・財源確保という点については、当初、スポーツエリアは4haを予定していたが現案では6ha。周辺整備を含むと約7.5haになる。この整備をすると基の整備の4haから約2倍の金額がかかり今の段階では難しいと判断した。
- ・災害復旧で整備する「閑上グラウンド」は運動広場として基本計画どおり、今年、実地設計をし、平成31年度（2019年度）に着工、年度内に完成、遅くても平成32年4月（2020年春）には使えるようにする。

● 閑上コミュニティ広場概要についてご説明

- ・図の赤線で囲った地区をパークゴルフの基盤整備として、まずコミュニティ広場の整備をする。
- ・コミュニティ広場は設計の段階であり、詳細は未定。
- ・復興庁からの回答待ちで、この整備の委託を11/7に震災復興部に設計の依頼をした。
- ・今後、設計図がある程度出来た段階で、もう一度皆様にお時間を頂いて方向性をご説明させて頂きたいと考えている。
- ・この広場につきましては、まだ土、芝生（天然の芝生、雑草の雑芝等）はまだ未定（整備金額予算による）
- ・コミュニティ広場としての整備であり、本格的な競技スポーツをもってくることは今のところ考えていない。4.9haあるので、「誰にでも使える」形、公園の延長でお考え頂きたい。
- ・災害復旧で旧閑上公民館の前にあったグラウンド1ha整備する事になっており、ここについては野球、サッカー等々、またはグラウンドゴルフができる様な形のグラウンドを整備したいと考えている。
- ・提示している事業概要につきましては、このコミュニティ広場を効果促進事業として認めてもらうにあたり、国の方に提出した内容となっている。
- ・その他の事業内容としては基盤整備、植栽整備、設備、施設整備など細かに書き出している。来年度、市の方で計画内容を、再度確認してから着工していく。来年度、議会の承認を得てから、新年度、最初の補正で議案を起こし、早くて5月の連休で着工予定となっている。

● 閑上グラウンド（災害復旧）整備基本計画について

閑上グラウンド（災害復旧）整備基本計画				
◆ 整備面積：10000 m ² （内グラウンド 8300 m ² ）				
◆ 内容 クレイ整備、バックネット、ベンチ、防球ネット、外周フェンス、給水設備、暗渠排水設備、スポーツ備品				
番号	整備内容	数値	単位	内容
1	基盤整備	10,000	m ²	1/4.9ha （市街地復興効果促進事業から）
2	クレイ舗装	10,000	m ²	閑上運動グラウンド整備基本計画から （平成 29 年作成）
3	バックネット	1	基	H10m ベンチ含む
4	防球ネット	140	m	H10m
5	外周フェンス	200	m	H1m
6	給排水設備	1	式	給水管、止水栓、散水栓
7	暗渠排水設備	1	式	暗渠 670m
8	スポーツ備品	1	式	倉庫含む

- ・バックネットの高さは 10m、幅が 15m、20m、30m になるかは実施設計の内容を見ながら市のほうで判断していく。
- ・基本計画の作成中。実施設計 1 億 5 千万円。それを基に設計。それが 2 億になるかは今後の推移を見守って検証していく。
- ・スポーツ備品リストとしては、野球、少年野球、サッカーゴールなど、必要な備品を購入していく。倉庫 2 つ用意しており、利便性を考えてお使い頂ければよいと考えている。

<質疑応答>

- ・5 月時点で説明いただいたスポーツエリアの基本計画は無くなったという事か？
→無くなったわけではなく基本計画の第一歩と考えていただきたい。来年度、整備するとなると財政確保の問題もあり 1 年ですぐにパークゴルフを整備することは難しく、最低でも 2 年はかかる。その後、実施計画、基本計画、パークゴルフ等、ご意見をもらってやっていく。基本設計は生かしたままである。しかし、社会情勢、利用形態が変わったりしてきますので、2~3 年後の事につきましては、もう一度皆様に計画作成をするにあたり、ご意見を頂いたように、もう一度、見直しをはかるつもりでいる。

（市）

- ・南地区にあった健康アスレチック広場は？

→こちらも基本残っているが、コミュニティ広場は一体的なものでなければならず、道路を挟んでしまっている為、健康アスレチック広場の部分は基盤整備を含めることができず、一旦保留となっている。

（市）

- コミュニティ広場でパークゴルフ場をつくるまでは多目的広場として使うことは可能となっている。
下地をきちんと仕上げ、整備をして、パークゴルフなり、サッカー、野球などをつくるか計画に反映していきたい。(市)
- ・被災地にパークゴルフ場を作ることは当初から疑問があった。多目的の利便性でやった方がいいと思う。どうなるかわからないし、造るとしても 2,3 年掛かるのであれば、多目的にしてラグビー、野球、サッカーの練習場だったり、専用施設の可能性を検討した方が良いのではないかな？
- 確かにパークゴルフ場は仙台市も増設し、岩沼も山元町もできる予定で飽和状態であり、名取市がいざ、オープンする時に利用状況となった場合、需要が読めない。と言われる可能性もある。駐車場は別として、サッカー場 2 面とれるスペースがあり、色んな関係者のご意見を頂きながら様々な可能性を検討していきたい。ただ、すぐには出来ないので 1~2 年はこのままコミュニティ広場として活用していく。(市)
- ・変更することになって、その後検討したらさらに 2~3 年以上かかるのでは？
- コミュニティ広場で決めた計画は、現地調査が終わるまで変えることはできない。広すぎるグラウンドだが整備後 1~1 年半はこのままのグラウンドで使っていただくしかない。運動会、夏祭り、ゲートボールだったり、みんなで有効に使っていく事を考えていただきたい。(市)
- パークゴルフ場ではないので、無料体育施設として管理は教育部文化スポーツ課(役所)となる。貸し出し等の窓口は、新しくできる公民館が担っていくことが予定される。公園ではないので、グラウンドは貸し出し優先となる。ただし最大 2 日連続までとなる。(市)
- ・地元で管理するような考えはあるのか？
- 当該地区に管理委託を出した事例もあるが、結果的には返却された。地域で管理していくのであれば協議をしていく必要がある。(市)
- ・名取市に公式の陸上競技場が無いから閑上にあつたらいいのではと考える。また合宿が出来る様な宿泊施設があれば沢山の利用客(学生等)が見込まれると考える。

<前回からの動き>

○12/8 復興公営住宅の完成式典

・復興公営住宅：閑上地区 集合住宅 285 戸建 178 =463 大曲地区 戸建 92 高柳地区集合 100 戸が供給されたことになり、全部の公営住宅が完成し、引渡しもされたことになる。沢山の人が閑上に戻ってくることとなる。しかし、生活が始まるものの、生活インフラ的なものはまだ途中であり、まだ工事中ですので、住民が不便だと思う部分を拾い上げていく。(市)

<今後の動き>

○12/16 12:00~ 閑上西地区クリスマス会

・子供たちだけで 35 人くらいの申し込みがあった。一応 60 名分のケーキを用意しており、ツリーなど飾って、歌も歌い、子供たちと楽しい交流会をしたい。(市)

○12/18 第 5 回閑上地区まちびらき実行委員会

・具体的にまちびらきによる集客と広報の戦略をまとめている。来年 5 月のまちびらきに向けて、時系

列的にいつまでにこんなことをやって欲しい等、名取市の案としてスケジュールを作成してもらっている。(市)

○12/22 閑上中央第二団地クリスマス会

・交流会を兼ねてやることとなっており、浜松東高校など学生がお手伝いに来てくれる予定である。一斗のもちつき（色んな味）、バンド演奏、大ビンゴ大会など、こちらも楽しく行う予定である。今後は2~3月 3/4（月）、5（火）あたりでやりたい。日程も含め確認している。(市)

2. 今後の進め方

→総会后、来年の活動をどうするのか考えていかなければならない。検討の積み残しとして中央緑道その2などの検討をどうするのか？(事務局)

・中央緑道については検討し提案を行っている。思いを話して伝えるが交渉相手とその機会を設けなければならない。そこは市の担当と事業者と話を詰めて貰えば良いのではないか。

・保育所のでき方が疑問である。中央緑道と一体的な利用を検討していたが、出来上がってきたものを見たとき、緑道とは一体的な作りとなっていないが？

→市の区画整理では一体的に使えるようにと考えていたが、園児の安全性の為、緑道に向けない。との考えがあった。北側に横断する形で緑道に行ける事にはなっているが、すべては難しい。(市)

・イトウチェーンについても、住民が買い物しやすい導線、配置を考えてほしい。

→初出店ではないので、事業者の方でもそのノウハウは分かっていると思う。(市)

・一方で便利性だけを考えると歩行者が多い等迷惑になる周辺住民も出てくる。

→市の方への要望をあげる手もあるが、事業者が主体となって周辺住民への説明会が行われるはずなので、そこで直接事業者に質問していく手もある。(PCKK)

・住民側からいくつか質問したら行政も動きやすいのでは？

・説明会のときに聞いた方がいい。

・12月中に一回やった方がいいのでは？年始は忙しくなるし

→土地区画整理事業の完了の活動はどうするのか？活動計画よりもこちらが先に検討する必要がある。まちびらきすると設計の話はほぼ終了し、あとは工事が進むだけとなる。来年度どう活動するか早めに決めていかないと組織等、準備が出来なくなる。2月頭には方針決めてあるとよい。(事務局)

・まちづくり協議会は無くして各町内会に任せていく事も考えられる。仕向ける路線をルール化していけばよいのではないか。

・今解散したら、結局は各団体がバラバラに活動し、自分たちのとこだけで終わってしまう。

・連合町内会がまとめれば良いのではないか？

・それでは震災前と同じでは？町内会の代表会議は必要だと考えるが。

・将来こうゆう組織があったらいいというものを考えていく必要がある。

・とりあえず、まちびらきをしたら現在のまちづくり協議会は解散してもいいのではないか？姿、形を変えて別な形でやっていくべき。

・この話は来年に協議会で決めましょう。

3. その他

- ・ 閑上小中学校の前、北側の道路は 40 キロでいいのか。また学校前は徐行にしなければ危険だと感じている。
- 児童の安全性については警察に相談してみる。(市)
- ・ 市有地の分譲について公募を行っているが、閑上に住んでた人が住みたいのに外れる。もう少し配慮しても良いのでは。でもやはり平等に扱う必要があるのか？
- 昨年度は被災者優先でやってきたが応募は無かった。そのため今年度は広く公募で求めたところ 8 月になって応募が多くなった。やはり西地区が人気高く、子育て世帯の関心も高くなっている。閑上地区の方が外れるということなので、その辺りはやっていきながら修正していきたい。(市)
- ・ 被災者支援について A~D 棟は大丈夫だが E~H 棟についてはどのようにしていくのか？
- ・ 支援のあり方が仮設のときと変わらない。サロンはやらないって言ったのに結局やっている。情報が欲しいと求める場所であり、頼りすぎなのは良くない。離れていかないと。平成 32 年(2020 年)には無くなります!!! 石巻市でも同様の問題が発生しているようなので、名取市でもしっかり考えていく必要がある。被災者支援ではなく介護支援になっている。平屋、集会場を作れば良かったのに
- ・ この話も難しいので、来年継続して議論していく。

○横断幕について

- ・ 仙台高専の方でも検討しているが、持ってこれる状態ではなかった。
- ・ 閑上地区の特徴的な方言等は？
→ だっちゃだれ～。かなあ
- ・ 閑上のイメージカラーは？
→ 閑上ブルー。ポカリスウェットの色みたいな青。

○閑上のブランド形成について

- ・ どういうものを作っていくのか？また誰にお願いして作るのかが非常に重要だと考える。先日、公営住宅の引渡し式に行ったが、ゴルフのコンペのような大きな鍵の模型が渡されている。どういうセンスなのか、非常に気掛かりである。

<次回世話役会>

- ・ 次回世話役会は 1 月 8 日(火)とする。
- ・ また世話役会新年会は 1 月 12 日(土) 20 名予約とする。

次回予定:世話役会(157)1/8(火)18:30~ 名取市震災復興部会議室 以上